

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーの未来はあなたの手の中に
The Future of Rotary Is in Your Hands
国際ロータリー会長 John Kenny



世界にも目を向けよう
Reaching Out to the World
富津中央RC会長 志波 克

2009～2010

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2132 第16回例会 2009. 10. 29 曇

点 鐘 : 志波 克 会長
進 行 : 平川恵敏 SAA
ソング : それでこそロータリー

会長挨拶

志波 克 会長



先日の地区大会には大勢の皆さんに朝早くから出席して頂き有難うございました。榎本幹事と私はRI会長代理戸田一誠氏の講話拝聴と同御夫妻歓迎晩餐会出席のため前日から泊まりがけで出掛けました。

会長代理のお話では、CLP、ポリオ・プラス等で面白い事をうかがい、夜は流山RC会長熊坂牧子氏のソプラノ、中村ガバナー夫人のタヒチアン・ダンス等、和やかで、楽しい会でした。

各種表彰で当クラブは、刈込会員の長寿表彰を含め五つ受賞しました。クラブ表彰は前年度実績

に対するものです。改めて高島前会長・佐藤前幹事を始めとする前役員方の努力に感謝申し上げます。今年度役員も来年度の受賞のため頑張りたいと思いますので宜しく御協力下さい。

帰路、君津のそば屋での懇親夕食会は大変楽しく話が弾み、主目的はこちらだったような感がありました。

会長報告

昨日、分区から依頼されてGSEのメンバー、ペギーさんとステファンさんの研修に同伴しました。

ペギーさんは私と日本画家高増暎子氏を訪ね、ステファンさんは三井会員とマザー牧場へ行きました。

終わって二人を八宝苑まで送る車中、二人ともそれぞれの研修が大変楽しく有益であったと喜んでいました。



〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcrcl>



幹事報告

榎本 守男 幹事



先週は、山田会員の工房での移動例会で山田会員より陶芸の話の伺い、上質な作品を拝見させていただき有難うございました。

陶芸に挑戦したくなりました。その節はよろしくお願いします。

25日には地区大会へのご登録、ご出席、お疲れ様でした。帰路、蕎麦屋で充実した反省会を開催できました。教養溢れる話題で楽しく時間を過ごしました。機会があればまたやりたいと思います。

これで年内の大きな行事はすべて終わりました。残すところ今年の例会もあと8回です。充実した例会にしたいと思います。ご協力をお願いします。

お知らせ

1. ライラセミナーの開催案内及び参加青少年、ロータリアンの推薦依頼
平成22年2月6日～7日、1泊2日、
増上寺（港区芝）
各クラブ1名以上（ロータリアン）
各クラブ男1名 女1名（青少年16歳～30歳）
2. 例会変更のお知らせ
11月2日 袖ヶ浦ロータリークラブ 休会

地区大会での表彰

富津中央クラブ（前年度活動対象）及び刈込会員は地区大会において下記の件で表彰されました。

富津中央ロータリークラブ

- ・会員増強目標達成賞
- ・小規模クラブ会員増強賞
- ・会員増強・拡大賞

- ・「夢をかたちに」にするための多大なる貢献への
功勞に対する会長賞

刈込 碩弥 会員

- ・長寿表彰



表彰状を見せる高島直前会長と志波会長

退院報告

「トイレが楽しみ」 その1

— 前立腺を手術して —

千葉一利 会員



今、トイレに行くのが楽しい。あの苦しみから解放されたのだ。

退職してから5～6年経っただろうか、尿の出が次第に細くなり、切れも悪く、残尿感をもつようになった。日常生活には、そう支障がなかったのではばらくそのまま放っておいた。ある日、友達に話をしたら、癌だといけないので専門医に診てもらったほうがよいといわれ、木更津の東口にあった専門医に行った。エコーなどでいろいろ調べた結果、前立腺肥大と言われた。そしてハルナールという薬を渡され、それで様子を見ることになった。

それから10年、薬も次第に効かなくなったのか、年を取ったせいとか、尿はますます細くなり、間隔も近く、夜4～5回トイレに行くようになった。水を直接さわればもちろんのこと、思うだけでも尿が出なくなり、たまには尿漏れも起こすようになった。こんな苦しい状態の中、今年の7月ロータリーの例会を終わって、トイレに行ったら、血尿らしいこげ茶色の尿が出た。こんなことは今までなかったので女房に相談したら、これを機会に少し大きな病院で検査してもらったらと心配顔で言った。

翌17日、鴨川にあるいつもかかっている病院に行った。今年は意外にも泌尿器科は空いていた。採尿、採血、腰部のレントゲンを撮り、午後の検査の結果、尿道結石の疑いがあるとのことだった。次回もっと詳しく検査すると言う。

7月18日、検査のため朝食抜きで病院に行った。DTP検査を受けた。点滴で造影剤を注入し、数回X線撮影を行い、腎臓の機能や、腎盂、尿管、膀胱の形態を調べるという検査だった。結果は尿道結石ではなく、前立腺肥大だということだった。

8月11日、さらに検査した。尿の出方と量である。ともに良くないということで、内視鏡で尿道や、膀胱、前立腺などを調べた。麻酔もしないで尿道から内視鏡を入れたので一瞬痛みを感じたが、医者の話だと胃カメラよりは楽だと言う。

撮った写真を見ながら説明してくれたが、前立腺が異常に肥大しているが、他に異常は見つからなかったという。前立腺の肥大が尿の出を悪くしているので手術の方がよいとのこと。

手術は、今は、お腹を切らず、内視鏡でできると言う。医学(医術)は確実に進歩している。私の心臓のカテーテル治療も同じであろう。おかげで現在の自分がある。なお、今飲んでいて血流を良くする薬バイアスピリンは、手術の際の出血と関係があるので、循環器内科の指導を受けるようにということだった。

9月1日、循環器内科に行き、手術に支障があるかどうかを確認し、入院手続きをした。

9月29日入院、30日手術と決まった。5泊6日の予定

(以下次号へ)

関連報告

平川恵敏 会員



千葉会員の報告を聞いて、議長席から平川会員が、尿にかかわる病気について補足的な話をされました。

卓話

百人一首における歴史探訪

榎本守男 会員



本日急遽、榎本会員が卓話をする事になり、天智天皇から順徳院まで、百人一首を読み解きながらその解釈と背景を即興とは思えない軽妙洒脱な語り口で、聞く者を魅了しました。

会員からは是非シリーズで話を聞かせてほしいとの声があり、それを受けて、榎本会員は、別の機会に続編として「百人一首に見る平安時代の恋」を話して見たいと意欲を示されました。

今回の話の内容は、次の機会の榎本会員の卓話と合わせて掲載する予定です。

ニコニコ BOX

山田昌雄 親睦担当部長



*刈込碩弥 地区大会で長寿のお祝いを頂きました。

山田昌雄 工房をお訪ねいただき有難うございました。

* >1,000円 合計3,000円

出席報告

高橋裕之 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21	18	2	1	90.48%
前回	21	20	1	0	95.24%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦
火	富津(最終例会 18:30~19:30)
水	木更津東、富津シティ(最終 19:00~20:00)
木	上総、木更津

君津 RC	ホテル千成	0439-52-8511
袖ヶ浦 RC	和風レストラン菜心味	0438-64-0756
富津 RC	山の上ホテル	0439-67-0388
木更津東 RC	ホテルロイヤルヒルズ 八宝苑	0438-23-0211
富津シティ RC	ホテル喜楽館	0439-87-4126
上総 RC	割烹旅館 山徳	0439-27-2003
木更津 RC	東京ベイプラザホテル	0438-25-8888

今週は紙面を借りて、「わかりやすいロータリー」と題する小冊子に掲載されていたロータリーにおける親睦(Fellowship)について紹介します。

ロータリーにおける親睦とは

親睦を目的として出発したロータリーも、長く真摯な議論を重ねながら、大きな変貌をとげました。その結果、現在のロータリーの定款や細則の中から親睦の文字を見つけ出すのは難しく、僅かに親睦活動委員会の項目にその痕跡を止めているに過ぎません。

ロータリーの二本柱として、ロータリアンのほとんどは、親睦と奉仕をあげますし、新しいロータリー年度が始まって、新会長の挨拶にも決まって親睦と奉仕という言葉が述べられます。親睦と奉仕がロータリー・ライフを支える2本の大きな柱であることは疑いのない事実であります。親睦が失われればクラブは崩壊するだろうし、奉仕がロータリー運動の大きな目的であることは疑いのない事実です。

ロータリーは敢えて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元においています。

ロータリーが定義する親睦と奉仕は、いかなる辞書を引いても正しい解釈が活字化されていないロータリー独自の概念であり、さらに、それを正しく理解しない限り、ロータリー思想の原理を語ることはできないのです。

“Fellowship”を「親睦」と訳したことにも問題があるかもしれません。むしろ「友情」とか「友愛」と訳すほうが理解しやすいでしょう。

親睦とはロータリークラブがクラブとして存続していく上で欠かすことのできない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。言い換えれば、“Fellowship”はロータリーの引力とも言えます。

以上

「わかりやすいロータリー」 第2650地区マニュアル編集委員会編 より抜粋